

リスクコミュニケーション

あなたは誰の言うことについていこう
と思いますか？

元ネタ

中谷内一也先生の本

安全と安心

2つの概念があるのはどうして？

安全と安心は違うから

安全であっても安心できない

ナノ化粧品が使われるのは
何故？

リスクテイクできるのは どんな場合？

納得できるから
信賴できるから

どこまで吟味して
判断しますか？

あるアイデアを受け入れるかどうか
は直感的に判断する部分が多い

「二重過程理論」とは

判断過程は2種類ある

きちんと考えて丁寧に判断する

第1のルート
負担が大きい

関連情報から手早く判断する

第2のルート
負荷は軽い

やる気と能力があれば
第1のルートが可能
どちらかが(もしくは両方)欠けて
いると第2のルートにならざるを
得ない

たいていは第2のルート

第2ルートは問題の
本質的な情報は使われない

では何から判断するのか？

信頼できるのはどんな場合？

知識を持っている専門家が発信
専門家が誠実に(中立的に)発信

政府広報戦略に よく使われているアイデア

しかし、専門家が安全性を
訴えることには限界がある

主要価値類似性(SVS)モデル

どんな立場の人の発言をそのとおりに
だと思えるか？

(単に中立ということではなく)

主要な価値(=ものの見方)を
共有していると思えることが
信頼の大きな要素である
という考え方

「お前に俺の気持ちが分かるかの
か？」と思われたらコミュニケーション
が成り立たない

判断せざるを得ないが、
自分ではよくわからない問題は、
できれば自分と同じ考えを持つ
た人の判断に従いたい
と思うのではないか

人にはそれぞれ思い込みがある

天然の放射能泉

(含放射能ーラドン泉)は安全だけど
再処理工場からの放射性クリプトン
ガスは人工放射性物質などで危険

事故防止対策で
アピールすべきなのは？

技術力を高めますというメッセージ
は有効？

情報隠蔽や説明が不誠実だ
とされているのであれば、
それへの対応が必要
もっとも能力不足が疑われている
場合には、能力があることを
示す必要がある

結論

相手の気持ちをよく考えよう

でも結構難しい